

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：冬どりコマツナの優良品種の選定（第 65 回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕露地の冬どりコマツナ栽培に適する優良品種は、収量性が高く、外観品質の良い「冬のエース 3 号」、「冬里」、「春のセンバツ 2 号」、「雪美坂」及び「はまつづき」である。			
キーワード コマツナ、冬どり栽培、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 野菜研究室 協力機関 日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、 生産振興課		
実施期間	2017 年度		

〔目的及び背景〕

本県のコマツナ生産は、平成 28 年産の産出額が 21 億円と全国第 6 位、作付面積(346ha)はこの 10 年間大きな変動はなく、安定している重要な品目である。コマツナは周年を通じて安定した需要があり、冬どりでも露地栽培で収穫可能な耐寒性が強く気候の変動を受けにくい草勢の安定した品種が求められている。そこで、冬どり栽培において、収量性、低温伸長性、外観品質の良い優良品種を選定する。

〔成果内容〕

- 1 第 65 回千葉県野菜品種審査会において審査した 18 品種のうち、入賞となった品種は「冬のエース 3 号 (R6-144)」（トキタ種苗（株））、「冬里」((株) 武蔵野種苗園)、「春のセンバツ 2 号 (R5-984)」（トキタ種苗（株））、「雪美坂 (NK-26)」（(株) 日本農林社）、「はまつづき」((株) サカタのタネ) の 5 品種である（表 1）。
- 2 播種 2 週間後の平均出芽率は、全ての品種で 90% 以上であった（表 2）。
- 3 入賞品種はいずれも、草姿は立性で株張りが良好である。「冬のエース 3 号」(写真 1)、「冬里」(写真 2)、「春のセンバツ 2 号」(写真 3) 及び「はまつづき」は収量が非常に多く、また「春のセンバツ 2 号」及び「雪美坂」は葉色が濃い（表 3）。

〔留意事項〕

平均気温が平年を下回る期間が多く（図 1）、生育が緩慢となり収穫が遅くなった条件での試験結果である。

〔普及対象地域〕

県内のコマツナ産地

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

[成果の概要]

表1 審査結果

順位	審査番号	得点 (200点満点)			品種名	出品社名
		立毛 (80点)	収穫物 (120点)	合計		
1	7	67.8	103.7	171.5	冬のエース3号	トキタ種苗(株)
2	8	67.2	102.3	169.5	冬里	(株)武蔵野種苗園
3	1	64.8	94.3	159.1	春のセンバツ2号	トキタ種苗(株)
4	2	64.5	93.0	157.5	雪美坂	(株)日本農林社
5	3	62.6	93.4	156.0	はまつづき	(株)サカタのタネ

注) 審査日:平成30年2月7日

栽培場所:農林総合研究センター野菜研究室圃場(腐植質普通黒ボク土)

耕種概要:播種平成29年11月7日、テーブルオーダーによる1粒播き

栽植密度 株間4.5cm、条間15cm、6条

施肥 9月13日に牛糞堆肥1t/10a、苦土石灰120kg/10a、11月1日に野菜専用BS222(12-12-12)108kg/10aを全面全層施肥

管理 11月7日にワリフによるトンネル被覆、1月15日にワリフの上から農ビを被覆

表2 圃場における出芽率(%)

品種名	審査番号	平均
春のセンバツ2号	1	97
雪美坂	2	99
はまつづき	3	96
	4	98
	5	92
	6	92
冬のエース3号	7	97
冬里	8	96
	9	95
	10	99
	11	95
	12	99
	13	97
	14	97
	15	99
	16	97
	17	93
	18	100



写真1 「冬のエース3号」

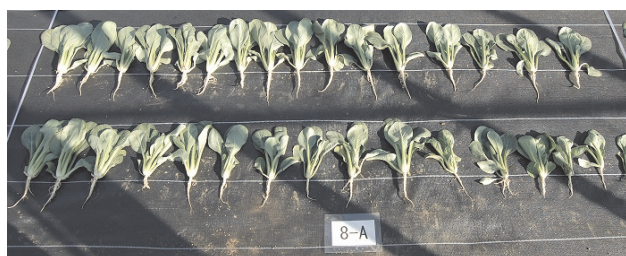


写真2 「冬里」

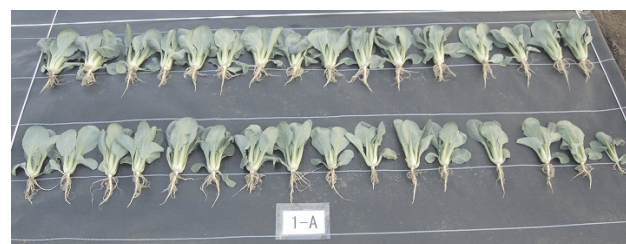


写真3 「春のセンバツ2号」

注) 各区とも中央2条、4mの出芽率を調査した
調査日は平成29年11月21日(播種2週間後)

表3 生育調査結果

品種名	審査 番号	草丈 (cm)	葉身長 (cm)	葉幅 (cm)	株新鮮重 (g)	葉数 (枚)	根径 (mm)	株張り	葉色	葉のカップ リング程度	備考
春のセンバツ2号	1	16.7	11.4	7.6	55.4	13.8	12.2	5	濃	0	
雪美坂	2	17.9	11.5	7.6	39.8	9.6	9.8	4	濃	1	
はまつづき	3	18.2	11.4	8.0	47.1	11.6	9.4	5	中	1	
	4	15.7	11.2	8.2	39.0	10.9	10.7	5	中	3	
	5	15.4	10.7	6.7	38.6	11.9	12.9	5	濃	3	
	6	11.9	8.7	6.1	42.5	15.1	10.6	5	濃	2	
	7	21.9	13.3	7.9	46.2	9.8	11.3	4	中	1	
	冬のエース3号	8	22.2	13.0	7.5	56.1	12.3	10.3	5	中	1
冬里	9	16.5	10.9	6.3	34.0	10.9	9.8	5	濃	0	
	10	18.0	12.4	9.5	43.9	9.4	9.9	4	中	4	葉の変形
	11	17.1	10.0	7.0	38.0	11.9	10.1	5	濃	1	
	12	16.7	12.0	7.2	39.1	12.1	11.4	5	中	0	
	13	16.6	11.9	7.5	41.1	11.9	11.7	5	中	1	黄化葉
	14	16.4	11.3	7.2	38.9	12.3	11.1	5	濃	0	
	15	17.7	11.3	7.8	46.5	12.9	11.5	5	濃	0	
	16	17.0	10.7	7.1	37.7	11.3	10.0	5	中	4	黄化葉
	17	17.2	10.6	7.6	39.8	11.6	9.4	5	濃	0	
	18	17.3	10.9	7.3	33.5	11.1	9.4	5	濃	2	葉の変形

注1) 調査日：平成30年2月8日、各8株の平均値

2) 根径は地際約1cm下の根の太さ

3) 葉のカップリング程度は中位葉を調査し、0(無)～4(大)で評価した

4) 株張りは5(良)～1(不良)で評価した

5) 葉色は、濃、中、淡の3段階で評価した

6) 葉の変形は一部タダレたような症状

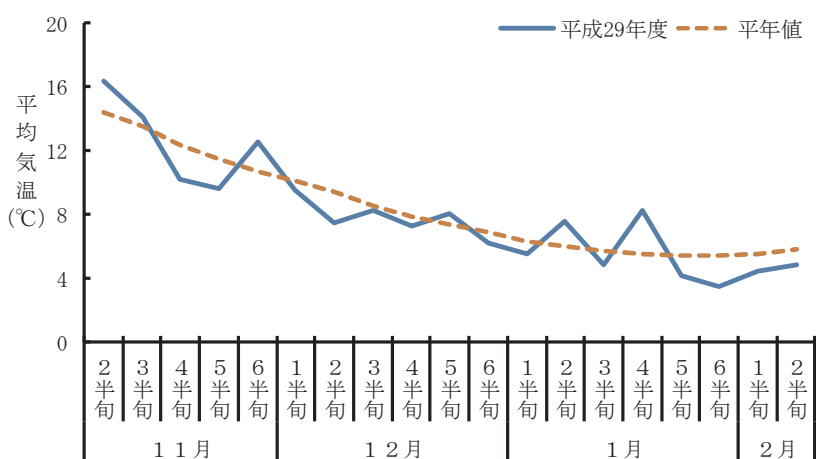


図1 栽培期間中の半旬ごとの平均気温 (千葉観測所アメダスデータ)

[発表及び関連文献] 平成30年度試験研究成果発表会 (野菜部門Ⅱ)

[その他]